

～引き継ぐ「神石小学校の文化」

〈6年生の偉大さを改めて感じる〉

今年は、寒く雪の日も多かった冬でしたが、雪遊びをしたり氷の上を滑ったりしている子ども達を見ると、「子どもはかぜの子」とは、よく言ったものだと感じているところです。

さて、立春を迎え、冬の寒さが一日一日ゆるみ少しずつ春の足音が聞こえる季節となり、学校では「鼓隊引継式」「児童会役員選挙」「児童総会」と、一つ一つ今年度の様々な活動を閉じるとともに、来年度に向けての出発の式（会）を行っています。

児童会選挙では、立候補した8名全員が、名前を呼ばれたら気持ちのよい返事をして、原稿を見ることなく堂々とはっきりした声で立候補演説をしたのです。これは、一斉暮会時に6年生が交代ではっきりした声で司会を行っている姿に通じるところがありました。6年生の堂々とした姿を見て、きっと4・5年生がその姿に憧れをもち、自然と目標にしたからこそ、このような立派な演説ができたのだと思います。また、演説の内容も、「大きな声であいさつをする」「何か言われたら返事をする」「友達と一緒に遊ぶ」「丁寧にわかりやすい字を書く」「やさしく声をかける」など、これも6年生の素晴らしさを受け継ごうとしていることがよくわかるものばかりです。このような演説を他の下級生もしっかり耳を傾けて聴いていました。きっと、立候補した人たちと同じ思いをもっていたのでしょね。

このように、次から次へと神石小学校の素晴らしい文化が受け継がれていています。

6年生の皆さん、ありがとう！そして、あと1か月、素晴らしい姿を後輩に見せてください。また、下級生の皆さんはその姿を見て、さらにレベルアップしてくださいね。素晴らしい神石小学校を創っていくために！！



校長 田丸 栄